

令和6年度 第1回 中能登町立鹿島小学校 学校運営協議会 会議録

【日 時】	令和6年4月30日（火）15：00～16：00
【会 場】	中能登町立鹿島小学校 校長室
【出席者】	飯田 一則、大湯 章吉、鍛冶 善正、清水 ひとみ 学校長 谷口 雅亮、福井 清久（50音順） 学校代表者：井田 朋樹 教頭
【欠席者】	池島 正芳
【事務局】	学校教育課：高木担当課長 生涯学習課：大野主査 平岡 山口
【次回予定】	未定

【進行】学校教育課：高木担当課長、鹿島小学校：井田教頭

1. 開会あいさつ

《清水学校長》

学校運営協議会が立ち上がるということで、とても楽しみにしている。これまで以上に、幅広い人に関わっていただきたい。

2. 会長、副会長の承認

※委員互選により、会長：飯田 一則さん、副会長：鍛冶 善正さんに決定。

3. 令和6年度学校経営方針について

※清水学校長より説明

4. 協議

●目標設定の経緯について

毎年、体力テストを実施。（握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げの8項目。）石川県の平均と比較して、8項目のうち、平均の半分以下のものが多い。平均より上のは1、2項目。肥満度データに関しては、男子22名、女子27名、計49名が肥満の状態になっている。石川県の平均と比較しても、ある学年の肥満傾向の割合がとても高い。そして、学校全体で見ても給食の残飯が多い。こういった現状を踏まえ、様々な面で子どもたちの育ちの土台となってくる、『体力向上』と『食育』の2つを掲げた。

●子どもたちの体力向上に向けた運動・スポーツ活動の推進について

〈意見〉

- ・なぜ運動をしなくなったのか？ゲームも運動不足の要因のひとつ。原因を減らしていくことから始めていくことが良いのではないか。
- ・教員の働き方改革も必要なので、教員の負担を増やすのはどうかと思うので、PTCA活動など、授業の中で実施できるものが良いのではないか。
- ・子どもたちにとっても負担が少ないものから始めていければ良い。
- ・昔は学校まで徒歩や自転車で通学するのが当たり前だった。食に関しても言えることだが、時代が変わってきている。
- ・1つ、2つからでも始めることが大事。何か1点だけでも集中して取り組むことが良いのではないか。
- ・数か年計画で実施してみてもどうか。この期間だけやるということでは、なかなか成果は生まれない。まずは1年で何ができるのか？
- ・食育と体力向上を絡めて何ができるのか考えてみてはどうか。

- ・鹿島小のキャッチコピーやテーマに沿ったものを企画したい。
- ・分かりやすく、長続きする、子どもたちにとって面白い物を企画する必要がある。楽しさと競争、どちらも学べるものが良い。

〈提案〉

① J r. スポーツクラブへの加入

- ⇒子どもたちに加入を進めるため、指導員の拡充と備品補助をしてはどうか。
- ⇒親が関心のある子は加入させているのではないか。現時点でどれくらいの子どもたちが加入しているのか、全体数を把握する必要がある。

② ニュースポーツ体験

- ⇒PTCA活動で全学年がニュースポーツ体験を実施していくのはどうか。
- ⇒PTCA活動の1回だけではもったいない。体育の授業や、他の機会を作って体験できるようにしたい。
- ⇒大人がこれをやると決めるだけでなく、子どもたちにも案を聞いてみても良いのではないか。

③ 縄跳びやマラソン

- ⇒昔は地球一周周しましょうプロジェクトというものがあり、「小学校6年間で地球を何周回れたね!」、「月まで行けたね!」と、よくできた子を褒めてあげていた。
- ⇒全体での目標と個人での目標を設定し、挑戦してもらうのはどうか。
- ⇒学校の環境は廊下も広く、ものすごく良い。縄跳びであれば、子どもたちもすぐに実施できるのではないか。

●健全な心身を育むための食育の推進について

〈意見〉

- ・あいさつは食育でも大事なこと。「いただきます」と「ごちそうさま」。
- ・食べ残し、肥満が多いということだが、好きなものだけ食べる「だけ食べ」をしているとバランスが崩れる。食事は組み合わせも重要。
- ・食事時間の制限や残してはいけないというストレスから食べられないという子もいるのではないか。それが不登校や登校しぶりに繋がっていることもあるのではないか。
- ・小さなところから成果を感じてもらい、少しずつ学校に足を運べるようになってくれたら良い。
- ・子どもたちそれぞれの事情を考慮しながら伝えていく必要がある。
- ・給食だよりにはすごく良いことを書いている。給食だよりを見ながら、家庭でもコミュニケーションを取ることで、子どもたちの意識も変わってくるのではないか?こんなに恵まれているということを感じてほしい。
- ⇒学校としても、配布して終わりにせず、発信の仕方を工夫していきたい。

〈提案〉

① 食材を「育てる」、「調理する」

- ⇒作る楽しさを知ることも食育に繋がる。
- ⇒食べるだけでは食育は進みにくい。小さい時（保育園）から繋げて学んでいく必要があるのではないか。

※協議会での提案を受け、継続して取り組める、具体的な実施事項を検討していく。

5. 閉会